

# きそさき 議会だより

VOL. **89**  
2016  
平成28年11月1日発行



今回の表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園  
まつなが かいさん  
の作品

## おもな内容

- 第3回定例会 **2~5**
- 委員会報告 **6~7**
- ここが聞きたい【一般質問】 **8~11**
- 行政報告 **12~13**
- 議会日誌 **14**
- 議員トピックス **15**



平成28年第3回木曾岬町議会定例会は、9月7日から20日までの14日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、執行側より平成28年度の各会計補正予算案ならびに平成27年度各会計決算、条例制定・改正案など議案19件と報告2件、同意2件が提出され、議会からの請願4件および意見書案4件の、合わせて31件が審議されました。

会期日程の内容は次のとおりです。

7日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告を受け、その後議案18件を上程し、町長の提案理由説明を受けました。続いて代表監査委員による決算審査報告が行われ、各議案を常任委員会に付託して審議することを決定しました。

次に報告議案2件が上程され、提案理由説明と詳細説明を受けました。続いて同意案2件を審議し、原案のとおり同意することを決定しました。続いて請願4件を一括上程し、審議によりいずれも原案のとおり採択されました。

12、14日にはそれぞれ常任委員会が開催され、付託された議案の審議が行われました。(6・7ページ参照)

16日には一般質問が行われ、3名の議員が質問に立ちました。(その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照) また、その後に、付託された議案の審議結果を各常任委員長が報告し、その質疑が行われました。続いて、初日に説明を受けた報告議案2件を上程し議会への報告を終えました。

20日の最終日には、初日に上程された議案18件について、討論・採決を行い、全議案ともに全会一致で原案のとおり可決されました。次に、追加議案1件が上程され町長の提案理由説明、事務局の詳細説明の後に続いて、質疑・討論・採決を行い、全会一致で原案のとおり可決されました。次に、意見書関連発議案4件が提出され、国に対して意見書を提出することを可決し、第3回定例会を閉会しました。

# 平成28年 第3回 木曾岬町議会定例会

## 議事内容

### 可決した議案 ◎執行部提案

議件名（議案の内容）

#### ■議案第43号

平成28年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額の総額から歳入歳出それぞれ1,000千円を減額し、予算総額を315,000千円とする補正予算です。前年度決算による繰越金の確定等により予算を減額しています。

#### ■議案第44号

木曾岬町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

※農業委員会等に関する法律の一部が改正され、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数について、必要な事項を定め、新たに条例を定めようとするものです。

#### ■議案第45号

木曾岬町農業委員会委員候補者等選考委員会条例の制定について

※農業委員会に関する法律の一部改正に伴い、農業委員等を選考する附属機関を設置するため、新たに条例を定めようとするものです。

#### ■議案第46号

木曾岬町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

※農業委員に関する法律の一部改正に伴い、これに基づく木曾岬町証人等の実費弁償に関する条例の必要な事項を定めるため、本条例の一部改正を行うものです。

#### ■議案第47号

木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正する条例の制定について

※行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、手数料の種類及び金額の追加等を行うものです。

議件名（議案の内容）

#### ■議案第39号

平成28年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第3号)について

※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ59,000千円を減額し、予算総額を4,625,000千円とする補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・海南病院施設整備補助金の追加
- ・湛水防除事業費負担金等県営事業負担金の追加
- ・社会資本整備総合交付金事業の減額 など

#### ■議案第40号

平成28年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ12,363千円を追加し、予算総額を1,017,363千円とする補正予算です。主な補正内容は、本年度に受入れる交付金及び前年度決算による繰越金の確定、並びに本年度の保険料額の総額が定まったことなどから予算を増額しています。

#### ■議案第41号

平成28年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額の総額に歳入歳出それぞれ15,413千円を追加し、予算総額を449,413千円とする補正予算です。主な補正内容は、前年度の介護給付費負担金の確定に伴う国・県交付金等の精算並びに、前年度決算による繰越金の確定等により予算を増額しています。

#### ■議案第42号

平成28年度三重県桑名郡木曾岬町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額の総額から歳入歳出それぞれ2,000千円を減額し、予算総額を103,000千円とする補正予算です。前年度決算による繰越金の確定等により予算を減額しています。

議件名（議案の内容）

■議案第54号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額109,401,148円、歳出総額106,317,914円、歳入歳出差引額（実質収支額）3,083,234円の決算に関する承認が行われました。

■議案第55号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額289,695,332円、歳出総額286,392,522円、歳入歳出差引額（実質収支額）3,302,810円の決算に関する承認が行われました。

■議案第56号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業決算認定について

※収益的収支の総収益は163,368,491円、総費用は165,991,289円により、当年度純利益は△2,622,798円（税抜）となり、資本的収支の収入総額は1,700,000円、支出総額は7,129,880円で、収支差引の不足額5,849,320円は過年度分損益勘定留保資金、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填した会計決算に関する承認が行われました。

報告案件

議件名（議案の内容）

■報告第4号

平成27年度決算に基づく木曾岬町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律等の定めにより、平成27年度における健全化判断比率、資金不足比率等の報告が行われています。

■報告第5号

平成27年度木曾岬町一般会計継続費精算報告書について

※地方自治法施行令第145条第2項の規定により、継続費に係る継続年度が終了した事業について、継続費精算報告が行われています。

議件名（議案の内容）

■議案第48号

木曾岬町消防団に関する条例の一部を改正する条例の制定について

※木曾岬町消防団員の人材確保が幅広く可能になるように、必要な事項を定めるため、本条例の一部改正を行うものです。

■議案第49号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額3,677,180,292円、歳出総額3,496,009,573円、歳入歳出差引額181,170,719円、繰越財産18,930,064円、実質収支額162,240,655円の決算に関する承認が行われました。

■議案第50号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額1,032,210,437円、歳出総額989,858,988円、歳入歳出差引額（実質収支額）42,351,449円の決算に関する承認が行われました。

■議案第51号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額111,617,787円、歳出総額111,021,345円、歳入歳出差引額（実質収支額）596,442円の決算に関する承認が行われました。

■議案第52号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額425,973,162円、歳出総額411,599,238円、歳入歳出差引額（実質収支額）14,373,924円の決算に関する承認が行われました。

■議案第53号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

※歳入総額3,000,400円、歳出総額2,961,064円、歳入歳出差引額（実質収支額）39,336円の決算に関する承認が行われました。

## 請 願

議件名（議案の内容）

### 請願第1号

義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める  
請願書

### 請願第2号

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求  
める請願書

### 請願第3号

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制  
度の拡充を求める請願書

### 請願第4号

防災対策の充実を求める請願書

## 可 決 し た 意 見 書

議件名（議案の内容）

### 発議第2号

「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求  
める意見書について  
※この意見書は財務大臣あてに送付しました。

### 発議第3号

「教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充」を  
求める意見書について

### 発議第4号

「子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる  
制度の拡充」を求める意見書について

### 発議第5号

「防災対策の充実」を求める意見書について  
※発議第3号～第5号の意見書は文部科学大臣あてに  
送付しました。

意見書は全て全会一致で可決となりました。

## 同 意 案 件

議件名（議案の内容）

### 同意第3号

木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同  
意を求めることについて

※木曾岬町固定資産評価審査委員会委員(1名)の任期  
が平成28年9月30日で任期満了となるため引き続  
き伊藤秀義氏を選任しようとするため、議会の同意  
を求めるものです。

### 同意第4号

木曾岬町教育委員会委員の任命につき同意を求めると  
について

※木曾岬町教育委員会委員3名の任期が、平成28年  
9月30日付で任期満了となるため、引き続き、藤  
井由弘氏、大橋洋平氏、新たに宮崎佐和氏を木曾岬  
町教育委員会委員に任命しようすることから、議  
会の同意を求めるものです。

## 追 加 議 案

議件名（議案の内容）

### 議案第57号

木曾岬町複合型施設行政棟備品購入変更契約について  
※木曾岬町複合型施設行政棟備品購入変更契約につい  
て地方自治法及び議会の議決に付すべき契約のため  
議会の議決を求めるものです。

### 議案、同意案件は全て全会一致で賛成となりました。

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合  
は議長採決となります。

※紙面の都合で掲載を割愛いたしておりますが、反対  
討論並びに賛成討論の内容は、木曾岬町議会会議録  
(北部公民館にて公表)でご覧いただけます。



# 総務建設 常任委員会

9月14日 午前9時から開催



伊藤律雄 委員長

総務建設常任委員会が付託を受けた議案は、議案第39号の所管部分、議案第42号及び議案第43号の補正予算案3件、議案第44号、議案第45号の条例制定案2件、議案第46号から議案第48号の条例改正案3件、議案第49号の所管部分、議案第53号から議案第56号までの全13議案(補正予算案3件、条例の制定・改正案5件、決算認定案5件)で委員5名出席のもと審議を行いました。

● 委員会での審議で質疑が行われた議案に関して、主な内容をご紹介します。

### ◎ 議案第39号(所管部分)

**質疑** 国庫支出金の消防費国庫補助金、社会資本整備総合交付金と消防費国庫補助金の地域減災力強化推進補助金が減額され、歳出も合わせて災害対策費の避難施設整備工事が減額となっている。今後この事業の具体的な見通しと考え方をお聞きたい。

**回答** 事業の進捗は来年度完成するように計画をしており、最終年度で十分施設整備はできると考えております。

**質疑** 地方交付税の増額と基金繰入金の減額と一般財源が減額された理由をお聞きたい。

**回答** 基金繰入金金の減額は、繰越金及び地方交付税の増額によるもので、歳出の一般財源が減額となったのは新たな特定財源が確保され振替がされました。

### ◎ 議案第43号

**質疑** 原材料費の添着活性化の購入単価の変動はあるのか。

**回答** 毎年同じ状況で特に値上がっていません。

### ◎ 議案第44号

**質疑** 農業委員会の委員の定数と農地利用最適化推進委員の定数はどの様に定まったのか。

**回答** 国からの通達と、農地利用最適化推進委員は耕作面積から換算して決めました。

### ◎ 議案第45号

**質疑** 新しく、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の条例が出来たための条例か。

**回答** 木曾岬町農業委員会の委員と農地利用最適化推進委員については定数を上回った場合に選考委員会で選考します。

### ◎ 議案第48号

**質疑** ただ年齢を下けただけなのか、経験者の方にも組み合わせが出来る具体的な施策があればお聞きたい。

**回答** 年齢緩和については若い人からや現役の消防団から団員の退職年齢には達してはいるが、ある程度の年齢まで残って良いとの要望もあり今回の改正をしました。

### ◎ 議案第49号(所管部分)

**質疑** 災害対策費の防災行政無線デジタル化更新工事はあと何年で終わるのか。

**回答** 平成29年度が最終年度、事業完了です。

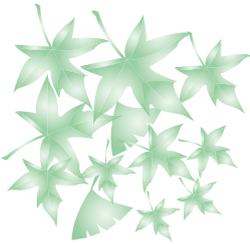
**質疑** 備品購入費の内訳は。

**回答** 海抜ゼロメートル地帯の県の補助金を活用させて頂いて、6人乗りのゴムボート3隻、購入価格は1艘610,000円とライフジャケット18着を購入したものです、それぞれ、小学校、中学校、福祉教育センターに配備してあります。

### ◎ 議案第56号

**質疑** 年間総有収水量が前年度4.5%減少しているがその原因は何かついでいますか。

**回答** 大口企業の節水によるものと考えられます。



消防団消防出初式

各議案の質疑を終え、一件ごとに討論を進めました。それぞれ、議案における討論はありませんでした。付託されました議案は、慎重に審議いたしましたところ、全議案とも概ね妥当と認め、本委員会は原案のとおり、可決するものと決定いたしました。

# 教育民生 常任委員会

9月12日 午前9時から開催



伊藤 正 委員長

教育民生常任委員会に付託を受けた議案は、議案第39号の所管部分、議案第40号及び議案第41号の補正予算案3件、議案第49号の所管部分、議案第50号から議案第52号までの決算認定案4件の全7議案(補正予算案3件、決算認定4件)で委員5名出席のもと審議を行いました。

●委員会での審議で質疑が行われた議案に関して、主な内容をご紹介します。

### ◎議案第39号(所管部分)

**質疑** 海南病院の施設整備補助金は請求がなかったのか、支払いが漏れたのはどうしてか。

**回答** 請求書は年度末にきており、文書が紛れてしまい、年度を超えてしまったため、今回の補正に計上しました。

**質疑** 訴訟委託料で、ごみ収集運搬業務損害賠償請求を求める訴訟はいつ頃終わるのか。

**回答** 平成28年3月に第1審は終結をしましたが、4月に名古屋高裁に控訴がありました。その後、答弁を経て控訴棄却となっております。全てが完了しましたら、報告をさせていただきます。

### ◎議案第41号

**質疑** 介護給付準備基金の積立にどう。

**回答** 介護保険料は介護保険計画で3年間の保険料を決めております。平成26年度は最終年度であり、平成27年度の保険料は新たな保険料率で算定しており保険料が約2,000万円程増えておりますので、その余剰金を介護給付準備

基金に積み立て、保険給付費の支払いが足らなくなった時は充当をする等、保険料の抑制を図っています。

### ◎議案第49号

**質疑** 幼稚園使用料の収入未済額と滞納分の内訳は。

**回答** 平成27年度3名、平成26年度以前で1名の方で今現在では平成27年度1名平成26年度以前1名に減っています。

**質疑** 民生費県補助金の子ども医療費補助金の所得制限者は何人か。

**回答** 昨年につきましては27名の方が所得制限で対象となりませんでした。

**質疑** 教育費の多額の不用額の理由は。

**回答** 平成26年度より600万円ほど減額をさせて頂いている。特に学校の関係で小学校費で268万円ほど臨時講師経費、工事費で55万円ほどは精査したが精査しきれずに残ってしまった。中学校費、社会教育費及び保健体育費の負担金、補助金の関係で特に、年度末

までに執行見込みができません、予算残となりました。

### ◎議案第50号

**質疑** 国民健康保険料の不納欠損が毎年高額だと思われるが、前年度との状況の違いと今年度ごとの様な対応策をとられたか。

**回答** この度の不納欠損は50件で全て時効によるもので昨年との違いは滞納額が高額の方の不納欠損となり件数も少なかった。対応は保険証の更新時期に来庁して頂き、分納誓約書を買ったか短期証を発行して厳しい措置をしており

ます。また、今後は差押えとか預金調査などをすることも必要だと思っております。

**質疑** 時効が2年と短いので対処を早めにはないと収入未済額も増えるし保険料を支払っている人の不公平差があるので未納者に対して対応を厳しくしてはどうか。

**回答** 時効が2年と短いのでから保険証の更新時期に分納誓約書を取って進めています。

今後納めている方の不公平感もありますので厳しく対応していく。

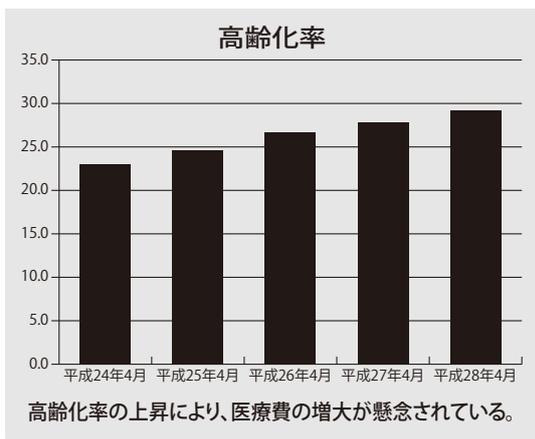
### ◎議案第52号

**質疑** 介護保険料で不納欠損の内訳を説明してもらいたい。

**回答** 不納欠損額の158,680円の内訳は時効による不納欠損が4件で内競売による不納欠損が1件と居所不明者3件です。

なお、各議案の質疑を終え、一件ごとに討論を進めましたが、それぞれの議案における討論はありませんでした。

付託されました議案は慎重に審議いたしましたところ、全議案とも概ね妥当と認め、本委員会は原案のとおり、可決するものと決定いたしました。



聞いて聞きたい

# 一般質問

この記事は、通告順に掲載し、  
質問議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、  
一般質問の全文は

木曾岬町議会議会記録(北部公民館にて公表で  
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

## 3名の議員が質問

ページ数 9 — 6 番議席 伊藤律雄 議員

- 自主運行バス中央線  
近鉄弥富駅行き農協前バス停について
- 木曾岬町循環バスについて

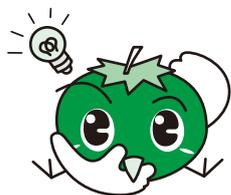
ページ数 10 — 9 番議席 伊藤 正 議員

- 健康ポイント制度で町長公約である  
元気な人づくりの拡充を
- 米や麦の生産に安心を

ページ数 11 — 2 番議席 伊藤 守 議員

- 複合型施設文化棟の利用について
- 教育福祉センターの1階の今後の利用計画  
について
- 町の防犯対策について

Q&A



# 一般質問



6番議席 伊藤律雄 議員

## 自主運行バス中央線近鉄弥富駅行き農協前バス停について

### 事前調査をしたうえで地域公共交通会議へ提案する 町長

#### 質問

木曾岬町も高齢化が進んでいます。農協前周辺は交通量も多く、現在のバス停は道路上に設置してあるため大変危険を伴います。安心できるバス乗り場（バス停用地等）の確保についてのお考えはありますか。

#### 答弁

木曾岬農協前停留所については、JAMエ、木曾岬支店自体が移転を完了しており、更に、今後の道路改良計画により、利用者の安全性を確保することが難しい停留所になることが予想されます。停留所の整備にあたっては、平均利用者数の多い箇所や交通危険箇所等、優先順位をつけて効果的に取り組む必要がありますので、しっかりとした事前調査を行ったうえで地域公共交通会議にご提案させていただきたいと思っております。

#### 再質問

中央線のバス停をチエックしたところ、一番危ないのが農協前のバス停です。高齢になると車にも乗れなくなるので、郵

便局も近くにあるので、雨や風の当たらない、安全、安心なバス停留所の確保をお願いしたいが町長のお考えをお伺いしたい。

#### 再答弁

農協前のバス停、現状、非常に危険だとはいうことの認識は持っています。

#### 再答弁

調査をさせて頂き、地域公共交通会議にご提案をさせて頂くが、複合型施設建設の全ての施設が完成した後、施設周辺のバス停を見据えて検討していきます。



木曾岬農協前バス停

## 木曾岬町循環バスについて

公共施設つなぐ循環バスについては、福祉施策などの一つとして、今後の検討課題と考える 町長

#### 質問

木曾岬町も高齢化が進み、幼稚園、保育園も2園が1園に統合される計画であると聞いております。どこへ行くにしてもバス路線が通っていない地区の方は徒歩か車での移動を余儀なくされています。統合した場合には幼稚園、保育園はバス停が遠く、園児や保護者にとつて負担になるうと思えます。高齢社会や未来の子供たちのためにバスが通っていない地区を含め新庁舎を中心とした木曾岬町内の公共施設をつなぐ循環バス導入についてのお考えをお伺いします。

#### 答弁

公共施設をつなぐ循環バスについては、現行の自主運行バスの運行と公共施設をつなぐ循環バスの運行は、目的、性質が多少異なるものと考えております。高齢化社会等に備える福祉施策等のうちの1つと捉えており検討課題の

#### 再質問

30年度に幼稚園・保育園が統合されると聞いていますが、保育園へ安全に回れる循環バス等考えていただけたらと思えます。

#### 再答弁

幼稚園、保育園の統合の件に伴う自主運行バスの利用の件ですが、乗降者の過多等に併い新路線を設けた経緯を踏まえますと幼稚園、保育園の統合については、なかなか利便性の向上が図れないですが、公共施設を繋ぐ循環バスを検討することも時間を掛けて考えさせていただきます。



9番議席 伊藤 正 議員

## 健康ポイント制度で町長公約で ある「元気な人づくり」の拡充を

元気に楽しい暮らしは、  
健康づくりの成果

町長

### 質問

町長へのアンケート調査によると、健康づくりの推進に満足している町民の割合は34%となっています。こうした中、全国各地の一部の自治体では健康ポイント制度を取り入れて、健康教室の参加者やスポーツ教室の参加者にはポイントをつけて、景品と交換しています。参考にし、もっと参加者を増やすべきではないか。

### 答弁

当町は、平均寿命や健康寿命とも県下市町の中でトップクラスであり、介護認定率につきましても県下で2番目に低い町となっています。これは、元気に楽しく暮らしていただいている健康づくりの成果であると考えています。

### 再質問

町長は、木曾岬町の高齢者は元気な人が多いと言われますが、医療費は10年前に5億4千万円位であり、平成27年は7億

### 再答弁

諸戸住民課長

3千万円位となっていていす。人口が減少しているのに医療費が伸びています。が、どのようになっていますか。

国民健康保険の医療費は、年々増加していますが高額医療者と単価の高騰が原因の一つと考えられます。

## 米や麦の生産に安心を

### 需要調整の参考数値を示す

町長

### 質問

町は、平成30年度から麦や景観作物等、生産対策補助金を廃止するとしており、農家からは不安の声が聞こえてきます。平成30年以降における当町への水稲作付面積の配分はあるのか、麦に代わる作物はあるか。町独自の

### 再答弁

伊藤産業課長

去る9月の農家組合長会議において、麦の作付の始まる時期に情報を提供しています。今年も水稲の需給調整の参考数値や水田フル活用補助金制度の情報を提供して需給調整を推進して行きたい。

### 答弁

町としても、国

や県と情報を共有しながらJAと連携し農家の方々に対して需給調整の参考数値を示して推進して行きたい。

### 再質問

平成30年からの事は農家の皆さんも分かって困って見えます。水田フル活用ビジョンでは米や麦などをどの様に策定することになっているのか、計画を示して頂きたい。また町の麦などの補助金について協議会で協議して頂きたい。



水稲の刈取り

# 一般質問



2番議席 伊藤 守 議員

## 複合型施設文化棟の利用について

図書館サポーター制度の導入や文化協会の活動などの自主制作の作品の展示会などをしていきます——町長

**質問**

11月、複合型施設行政棟が完成し、来年、教育文化棟が建設されます。図書館、町民ホールの具体的な利用方法などをお聞きいたします。

**答弁**

図書館におきましては、昨年の6月に図書館の活性化委員会を立ち上げ、ワークショップや読み聞かせ会の開催、あるいは図書館サポーター制度の導入など、木曾岬町では今までできなかったソフト面からの充実を図って利便性を高め、多くの皆さんが気軽に来館し、本を楽しんでいただけるように考えています。

町民ホールにつきましては、講演会や映画会、幼稚園、小学校、中学校や文化サークルなどの皆さんの発表会、あるいは成人式などを代表する各種の式典、文化協会が主催されますミニコンサートなどの活動、自主制作の作品の展示会などを中心とした運用になっていこうかと考えています。

## 教育福祉センターの1階の今後の利用計画について

生きがいづくりや介護予防につながる通いの場にしたい——町長

**質問**

今ある教育福祉センターの今後の利用計画をお聞きします。図書館はどちらかといえば、元気な人、若い人が来やすいところだと思います。木曾岬町の65歳以上の高齢者率は29.31%、1,897人です。高齢者にもう少しスポットライトを当ててほしいと考えます。

**答弁**

改修後の福祉教育センターの利用計画をいたしましては、集会室を従来通り子育てサロンとして子育て年齢層を中心とした親子の交流の拠点といたしまして、また、ロビー及び和室につきましては、高齢者の方々を中心とした通いの場にし、と考えております。今後高齢化が進む中であって住みなれた地域でできるだけ健やかに暮らしていただくために、医療、

介護、住まい、生活支援、予防を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築には高齢者の孤立を防ぎ、

## 町の防犯対策について

福祉施設などへ防犯対策に資する整備の情報提供を行う——町長

**質問**

再三防犯カメラの必要性を、過去の一般質問でも質問してきました。ことし7月26日の相模原障害者施設殺傷事件などもあり、高齢者介護施設、保育所などの防犯対策強化のため、国は補助金を考えています。木曾岬町はどのような考えがあるのかお聞きします。

**答弁**

三重県においては今のところ詳細な取扱

いについては承知をしておりますが、国から指針などが示された段階で対応できるように現在準備や検討をしているとのこと。町といたしましては今後の国や県の動向を注視するとともに、福祉施設などの管理者に對しまして、施設への防犯対策に資する整備に對しての情報提供を積極的に行っていきたいと考えています。



福祉教育センターロビー

# 行政報告

要旨



加藤 隆 町長

今期定例会に上程いた

きます。議案は、各会計の補正予算案、条例の制定及び一部改正案、各会計決算認定など、いずれも重要な案件でございます。

まず、「桑員地域産業活性化基本計画」について申し上げます。

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」、いわゆる「企業立地促進法」に基づき、平成24年2月に桑員地域の2市2町と三重県並びに、管内商工団体、金融団体及び大学などの代表17名で構成される桑員地域産業活性化協議会が発足し、同年12月に平

成28年度までの5年間を計

画期間とする桑員地域産業活性化基本計画が策定されました。今年度末で計画期間を迎えることから、現在これに引き続き新たな5か年計画の策定に向けて準備を進めているところでございます。

この計画は、当該地域の特性を活かした企業立地のあり方と、輸送用機器関連企業をはじめとする地域産業の活性化、企業立地並びに産業の高度化と雇用創出についての目標のほか、当該地域への事業進出を検討している企業が、企業立地促進法に基づく支援策を受けるための必要な計画とな

っております。

計画に記された管内の計画期間内の指定集積業種における製造品出荷額の推移に関して概要を申し上げます。計画当初の平成21年と計画終了年の平成26年とを比較しますと、集積業種全体の粗付加価値額は年間4,071億円から5,135億円へと、26%の伸び率となり、当初計画の5%を上回る結果となりました。この要因としては、製造品出荷額の約半数を占める輸送用機械製造など、輸出関連企業がここ桑員地区には数多く集積しており、政府の円安政策や国内の景気回復機運がさらなる追い風と

なったことから、この結果に至ったと推測されます。また、本計画期間内の企業進出実績に目を移しますと、管内への指定集積業種の立地件数は計画当初の5件に対し13件の実績が、また同集積業種の新規雇用創出件数も計画の250人に対し593人の実績と、それぞれ大きく目標を越えることとなりました。こちらについては、管内に張り巡らされた幹線道路網の利便性と、東海環状自動車道や第2名神自動車道など高規格道路に対する期待等から、当該地域への進出の決め手になったものと推測されます。

なりましたこと

こうした計画を踏まえつつ、本町としては平成30年5月から始まる木曾岬干拓地内の都市的土地利用を目前にして、桑員地域の豊かな道路網と、今後期待される同地域への産業集積を背景に、木曾岬町内、とりわけ木曾岬干拓地内への企業誘致に向け、県と足並みを合わせつつ積極的に取り組んで行こうと考えております。

次に、「平成29年度からの介護保険事業の取組み」について申し上げます。団塊の世代が75歳以上となる超高齢化社会の到来により、医療や介護の需要は、さらに増加が見込まれます。これを見据えて、高齢者が住み慣れた家や地域で、できる限り長く自分らしく暮らすためには、一人暮らしや認知症などの介護が必要になっても、医療、介護、住まい、生活支援、予防を必要とする人に提供する「地域包括ケアシステム」

を構築することが重要です。

この「地域包括ケアシステム」を実現するため、「介護予防・日常生活支援総合事業」

「在宅医療・介護連携推進事業」、「生活支援体制整備事業」、「認知症総合支援事業」の4つの事業を来年度から順次開始します。

1点目の「介護予防・日常生活支援総合事業」は、平成29年度から開始します。

要支援1、2の予防給付のうち、介護予防訪問介護

及び介護予防通所介護やチャックリスト該当者や一般高齢者に対する介護予防事業や生活支援については、

社会福祉協議会や事業所、ボランティア等住民の皆さん

に協力を得ながら、掃除、洗濯などの日常生活上の支援や機能訓練や集いの場の創設、栄養改善を目的とした配食、ひとり暮らし高齢者等の見守りなどの事業を

推進します。

2点目の「在宅医療・介

護連携推進事業」も平成29年度開始を予定しております。

医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を医師、歯科医師、看護師等の医療関係者と介護関係者が連携して、地域での暮らしを支えていく体制を構築するため、関係機関の会議や多職種研修、ネットワークを利用した関係者間の情報共有のシステム整備し近隣市町と連携して進めてまいります。

3点目の「生活支援体制整備事業」についても平成29年度の開始を予定しています。

地域で高齢者の在宅生活を支援するため、介護保険制度のサービスのみならず、現実に行われているサービ

ス資源を把握し、不足するサービスの開発を進めていく必要があります。  
生活支援コーディネーターを配置し、ボランティア等の生活支援の担い手の育

成や発掘等を行うとともに、支援を必要としている人に、サービスをつなげるためのネットワーク化に取り組みます。

4点目の認知症総合支援事業は、平成30年度からの開始予定です。

認知症の初期には、症状に気付かず、悪化した段階でサービスを利用する事後的な対応ではなく、早期に認知症の相談や早期診断、早期対応を行うため、「認知症初期集中支援チーム」

や「認知症地域支援員」の設置を行い認知症の人やその家族が、地域で安心して暮らせるための関係機関の連携調整を進めます。

以上のことを申し上げて、平成28年第3回定例会にあたっての行政報告とさせていただきます。

## みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。

また、要望など、どのような内容でも結構です。

ご意見、ご質問をお寄せください。

### 提出先

議会広報常任委員会(議会事務局)

TEL 68-6108

### ◆政務活動費について

政務活動費は政策の調査・研究等の活動を行うために議会の議員に対して支給される費用です。

木曾岬町議会では政務活動費の定めが無く支給されていません。

## 議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、庁舎2階の傍聴席入口で受付しています。受付は、ご住所とお名前を記入していただくだけです。

### 次回、12月定例会、本会議の予定です。

- 12月 8日(木) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 12月 13日(火) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 12月 15日(木) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合もございますので、お手数ですが議会事務局までお問い合わせください。

### 問合せ先

議会事務局 TEL 68-6108

# 議会日誌

## 2016 7月

- 25日 ● 桑名・員弁広域清掃事業組合出納検査  
(桑名市)に伊藤好博議長出席
- 30日 ● 木曾川源流夏祭り(長野県木祖村)に議員  
多数参加

## 2016 8月

- 2日 ● 議員懇談会
- 5日 ● 三重県町村議会議長会第68回定期総会に  
伊藤好博議長出席
  - 自治研修会(津市)に伊藤好博議長出席
- 6日 ● やろまい夏まつりに議員多数出席
- 9日 ● 平成28年度木曾岬町体育協会理事会に伊  
藤好博議長出席
- 10日 ● 例月出納検査、財政健全化審査に三輪一  
雅監査委員出席
- 11日 ● 新名神高速道路及び東海環状自動車道開  
通式典に
- 15日 ● 戦没者慰霊祭に議員多数出席
- 23日 ● 議会全員協議会
- 24日 ● 桑名・員弁広域清掃事業組合出納検査  
(桑名市)に伊藤好博議長出席
- 25日 ● 桑名・員弁広域連合議会第2回定例会  
(桑名市)に伊藤好博議長出席
  - 桑名広域清掃事業組合第2回定例会(桑  
名市)に伊藤好博議長出席
- 27日 ● 新ごみ処理施設整備事業講演会に議員多  
数出席

## 2016 9月

- 1日 ● 議会運営委員会
- 4日 ● 木曾岬町防災訓練に議員多数出席
- 7日 ● 木曾岬町議会第3回定例会(初日)
- 7日～8日
  - 第3回定例会提出議案説明会
- 9日 ● 例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
- 10日 ● 木曾岬町敬老会に議員多数出席
- 12日 ● 教育民生常任委員会

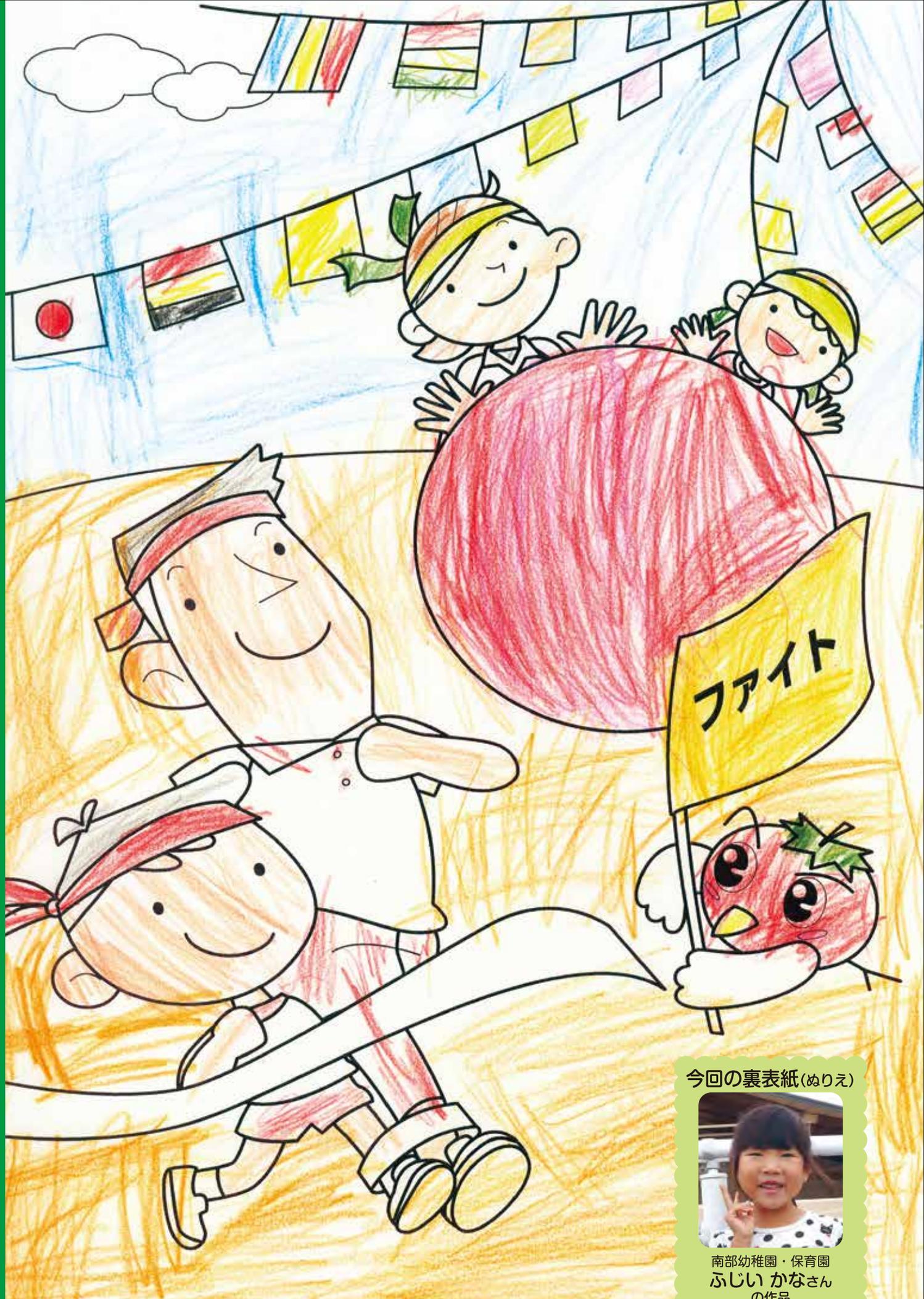
## 2016 9月

- 14日 ● 総務建設常任委員会
- 16日 ● 木曾岬町議会第3回定例会(一般質問日)
  - 議会運営委員会
- 20日 ● 木曾岬町議会第3回定例会(最終日)
  - 行政視察
  - 議員懇談会
- 23日 ● 桑名・員弁広域清掃事業組合出納検査  
(桑名市)に伊藤好博議長出席
- 24日 ● 木曾岬小学校運動会に議員多数出席
- 25日 ● オータムフェスティバルに議員多数出席
- 26日 ● 伊勢湾台風犠牲者慰霊祭に議員多数出席
- 27日 ● 北勢5町議会研修会に議員多数出席
- 28日 ● 木曾中フェスティバル(文化の部)に議員  
多数出席
- 30日 ● 木曾中フェスティバル(体育の部)に議員  
多数出席

## 2016 10月

- 1日 ● 中部・南部両幼稚園保育園運動会に議員  
多数出席
- 7日 ● 議会広報常任委員会
- 9日 ● 木曾岬神社秋季例祭に議員多数出席
- 11日～12日
  - 三重県町村議会議長会県外研修(長野県川上  
村)へ伊藤好博議長出席
- 12日 ● 例月出納検査、定期監査(対象:財政援助  
団体)に三輪一雅監査委員出席
- 14日 ● 「新ごみ処理施設整備に係る財政支援等  
に関する意見書」の提出に伊藤好博議長  
出席
- 14日 ● 議会広報常任委員会
- 16日 ● 第53回町民体育祭に議員全員出席
- 17日 ● 三重県町村議会議長会理事会(津市)に  
伊藤好博議長出席





発行／三重県桑名郡木曾岬町議会  
編集／議会広報常任委員会

〒498-8503 三重県桑名郡木曾岬町大字西対海地251番地  
☎(0567)68-6108(直通) FAX(0567)66-3111  
E-mail: gikai@town.kisosaki.lmie.jp

今回の裏表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園  
ふじい かなさんの  
作品